

甲南大学突破カリキュラム

傾向と対策

学習カリキュラム

基礎戦略

ポイント

◎ 年間スケジュール

	2月~3月	4月~5月	6月~7月	8月	9月	10月	11月	12月~2月
学校行事								
トライ対策スケジュール	基礎の確認				標準問題への実力付け			入試問題の実践と記述対策
	<p>英:長文読解のための文法事項の再確認 数:基礎公式の徹底理解と使い方指導(特に記述対策は必須) 理:基礎語句、公式の理解定着 社:資料問題突破の為の、時代背景の定着と基礎語句の定着 国:古典基礎文法の確認、現代文読解力の定着、漢字問題の理解確認</p>				<p>12月までに学校巻末問題から参考書標準問題に対応できるようにする。 英:長文読解の実践と速読指導、英作文対策。 数:センターレベルの問題対策と参考書発展問題の演習 理:実験、図示問題、説明問題対策 社:資料問題の解き方指導、テーマ別史の理解定着 国:古典読解のポイント指導。現代文記述対策</p>			<p>赤本を使い、実践。また同レベルの大学赤本も使いながら受験対策を進める。5教科全て記述問題、難問の対策をしていく。入試時間を効率よく使える解き方指導。</p>
	三者面談				三者面談 志望校相談		三者面談 志望校相談	
ポイント	<p>・総受験者数22250人で合格人数が6460人。総平均倍率は3.4倍(2011年度)・多彩な合格審査基準がある。3教科試験、センター試験併用試験、理工学科では3教科中2教科の合否判定の試験が存在する。・英語の長文読解が長い。紛らわしい選択問題・記述の難問も出る。基本的に英作文の問題も出題される為、日ごろから記述慣れが必要。・AO入試にて、成績優秀者は学費免除の対象になる。・英語の問題レベルが高い。長文の速読と読解力が必要。・社会・理科の受験は標準レベル問題が多いが、幅広い範囲が出る。基礎問題を確保すれば奇問難問は取れなくても合格ラインにもっていくことは可能。</p>							

◎Data Mining 【傾向と対策】

英語	<p><文法問題>文法問題は穴埋め式が中心である。標準レベル問題が多い。<長文問題>同レベルの大学より難易度が高い。関関同立に近い難易度の問題も出る。英文量もかなり多く、速読力と読解力重視の傾向。問題形式は空所補充、内容説明、同意表現、和訳など。テーマ別文章も出するため、化学、経済、法律、物語等テーマにあった語彙力を増やす必要あり。問題レベルは高いが、合格最低点がやや低いため、標準問題を確実にとりたい。<英作文>50字自由英作文や4コマ漫画の吹き出し問題などが出題される。70分、80分という時間にしては問題量が多い。できる問題から解くようにしないと時間が足りなくなる。</p>
数学	<p><文系数学>標準レベル問題が多い。教科書の巻末問題と基礎問題がある。図形と方程式がかなりの頻度で出題される。三角関数、二次方程式の解もよく出題されるので対策が必要。<理系数学>基礎重視の問題が多いが、図示問題や証明問題も出題される。微分積分問題が頻出、三角関数、数列、ベクトルも出やすい。記述式の標準問題が出るので、センターレベルの問題を記述して演習をすることが必要。難問奇問は基本的に出ない。数学Ⅲ、Ⅳの問題も標準レベルである。学校問題を確実にし、発展問題の対策をしていく必要がある。<試験当日の戦略>文系、理系に関わらずできる問題から解く必要がある。問題数は決して多くはない。</p>
日本史	<p><歴史>教科書レベルの問題が多い。幅広い知識がないと解けない問題もある。難易度は基礎から標準問題が多く含まれる。奇問やマニアックな問題も含まれる。<出題形式>長文の穴埋め問題や資料の読み取り、図等の読み取り問題が多い。基礎語句をきちんと理解することが大切。記述慣れを必要とする。経済史、法律史、文化史等のテーマに沿った勉強が必要。<日本史>近現代史の出題が4割以上を占めるため近現代を中心に対策する。江戸時代から文化史の対策も必要。資料読解問題がやや難しい。テーマ別時代縦断での理解が必要。<世界史>地域別、時代別、分野別で出題される。地域別では東南アジア、内陸アジア、ラテンアメリカなど細かい範囲まで出題される。</p>
国語	<p><現代文>例年の問題傾向として評論からの出題がほとんどである。記述式もあり、読み書き取りや内容説明の問題も出題される。テーマは、文化・芸術・言語・環境問題などがよく出題される。随筆文、論説文ではややこしい正誤問題などが出題されている。レベル的には読解量が多いが標準レベル。解答時間に無理はない設定なのできちんと読み込むことが重要。<古文>古典は中古・中世・近世など幅広い内容が出題される。口語訳は10から20字の字数制限がつく場合が多い。古典常識、和歌修辞・解釈も出題される。助動詞、助詞、敬語等の古典単語等細かい内容理解が必要。<入試当日戦略>試験時間70分だが、現代文の問題を早く正確に解けるようにならないと時間が足りない。古文は文法事項の理解を確実にすることが大切。</p>
理科	<p><物理Ⅱ>奇問難問はないものの、物理の基礎現象や概念をきちんと理解できないと解けない良問が多い。全体的に標準レベルが多い。<化学Ⅱ>化学Ⅰから6~7割出題される。教科書レベルの内容を化学現象等を通して問う問題が多い。理論からの出題比率が高く、幅広く出題される。思考力を問う記述問題が多い。<生物Ⅲ>生物Ⅰが大幅を占める。空所補充問題は基本内容から出題されるが、記述問題が難しい。20字から50字程度から100字の長文論述も出題される。実験概要・結果や生物用語の解説が出題された。論述問題は記述の仕方などの細かい指導がないと解答が難しい。</p>

◎ こ生徒にお勧め!

- ・塾、予備校に通っても効果があらわれない方
- ・部活と両立したいが予備校との日程が合わない方
- ・基礎固め、苦手分野のみの克服をしたい方
- ・難問・奇問の徹底対策をしていきたい方

◎ 対象エリア

兵庫県を中心とした近畿圏内
 対象学年 高校1年生~高校3年生
 指導期間 お申し込み時から受験日の月末

◎ 対策の特徴

【コースの特徴】

- (1) 細かい計画・戦略を練ったプロによる指導が受けられる。
- (2) 難問への解き方対策。テクニックや考え方をしっかり身に付けることができる。
- (3) 塾の解き方に合わせた指導からより簡単な解き方まで生徒に合わせた指導を行う。

【対応教師】

プロによる指導が好ましい。セレクトBからプロアドバンス